

2017年クリーンハイクを成功させよう

日本勤労者山岳連盟自然保護委員会

労山クリーンハイクの歴史では、1960年代後半から東京、滋賀、兵庫などの会・クラブが清掃登山を実施し、1974年10月に第1回全国自然保護強化月間を設け「全国一斉クリーンハイク」が始まりました。翌年から毎年6月第1日曜日を全国清掃登山の日と定め、今年で44回目を迎えます。昨年は台風や全国的な天候不順の影響で中止した会が多く、参加者、ゴミの量ともに例年の7割でした。43都道府県連盟で、369の会・クラブが357のコースで取り組み、参加者総数は5,782名、ゴミは全部で約5.4トンでした。

クリーンハイクは、登山者が誰でもどこでも取り組むことのできる自然保護の第一歩です。山を汚さず傷つけないという登山者のモラルを高めることができます。運動として取り組み、広範な登山者に山の自然の大切さをアピールできます。ポスター作りや後援名義などを組み合わせ、自治体などと相乗効果を高めることができます。一般参加者や子供たちにクリーンハイク体験をしてもらい、自然保護を伝えることができます。今年も6月の全国一斉クリーンハイクに向けて準備し、実りあるものにしましょう。

記

1. ゴミは山に捨てないようにし、持ち帰りましょう。
2. 捨てられているゴミを見つけたら、持ち帰るようにしましょう。
3. 登山者・ハイカーだけでなく、一般旅行者、外国人にも声をかけ、ゴミの持ち帰りを呼びかけましょう。
4. すべての登山者・ハイカーが、山と緑の番人、山岳自然を守る番人としての自覚を持ち、山歩きを楽しみましょう。



2017年6月 日本勤労者山岳連盟